

## 第4回定例会

〔12/11以降に可決した議案など〕

○平成30年度一般会計補正予算  
主に、次の内容で総額13億2,000万円を補正するものです。  
・職員給与など（期末・勤続手当0.05月引き上げなど）  
・パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費  
・難病患者支援対策費  
○平成30年北海道胆振東部地震からの復旧・復興に係る北海道の地域特性を考慮した新たな支援制度の構築と財政措置等を求める意見書  
など、合計32件の議案などを可決しました。

## 委員会の主な活動状況

〔12/11～1/10〕

### 総務委員会

札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」（案）および札幌市環境教育基本方針の改定案について、環境局から説明を受け、質疑を行いました。（12/11）

### 文教委員会

札幌市教育振興基本計画改定版（案）について、教育委員会から説明を受け、質疑を行いました。また、「子ども・保護者・保育労働者の緊急課題の実現を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。（12/11）

### 厚生委員会

札幌市自殺総合対策行動計画2019（案）について、保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。また、「福祉灯油」等の実施に関する請願」の初審査を受け、継続審査としました。（12/11）

### 経済観光委員会

路面電車事業の上下分離について、交通局から説明を受け、質疑を行いました。（12/11）

### 総合交通調査特別委員会

都心アクセス道路について、まちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。（12/19）

## 第1回定例会のお知らせ

平成31年第1回定例会は、2/8(金)から3/6(木)まで開催され、各会派の代表質問は、2/18(月)から3月日の予定です。

■編集 札幌市議会事務局  
政策調査課  
☎211-3164 FAX218-5143  
■市議会ホームページ  
www.city.sapporo.jp/gikai

## 原発問題と小規模企業などへの支援

原田 だいすけ  
平岡 大介  
日本共産党

北海道胆振東部地震に伴う停電により、泊原発は非常用発電機を使わなければ使用済み核燃料の貯蔵プールを冷却できない事態となりました。この教訓から、北海道電力に対し、原発の再稼働はやめて廃炉に向けた検討を始めるよう、市長の立場から表明すべきだと考えますが、いかがですか。

泊原発の再稼働については、現在も原子力規制委員会の審査が継続中であり、引き続き審査の状況について注視していきます。また、北海道電力には、原発の問題に限らず、電力事業者としての保安責任をしっかりと果たしてほしいと考えています。

小規模企業などの持続的発展には、どのような課題があると認識していますか。また、本市独自の支援策の推進と関係団体との連携強化が求められていると思いますが、いかがですか。

中小・小規模企業は大企業に比べて、新たな事業展開を図るための経営資源が不足していることや、事業承継など、さまざまな課題を抱えていると認識しています。したがって、国・北海道や金融機関・経済団体などとの連携を強化し、市内企業の現状を踏まえた独自の支援策を実施していきます。



## 交通事業の将来展望

ほんごう としほみ  
本郷 俊史  
公明党

人口減少・超高齢化社会の到来という時代の転換期を迎え、本市の財政状況も厳しさを増していく中、多額の経費を伴う市政課題を解決するためには、大胆な財政改革を行う必要があります。交通事業の民営化をその目玉とすべきと考えます。

現在策定中の交通事業の次期経営計画においては、そうした将来を見据えた視点をどのように取り入れていきますか。同時に、将来の民営化などに向けた研究、調査、検討を開始すべきだと思いますが、いかがですか。

本市の交通事業は、今後の人口減少により大幅な乗車人員の増加が見込まれない中、老朽化した施設の更新や、バリアフリー化、訪日外国人旅行者への対応など、時代に合った施設整備やサービス提供への取り組みが強く求められています。このため、次期経営計画は、将来を見据えたこれらの取り組みを加速して進めるとともに、経営力の強化などを図るものになります。

また、将来的な経営の在り方については、他の事業者の先進事例や民間の取り組みを参考として研究を行い、効率的で持続可能な経営と、安全・安心な運行に努めていきます。



## さっぽろ市議会だよりを発行

平成30年第4回定例会の内容をまとめたNo.121を配布中です。代表質問や採決態度一覧など、市議会の動きを詳しく掲載しています。市議会ホームページからもご覧いただけます。

### 〈配布場所〉

市役所ロビー・2階市政刊行物コーナー、区役所、まちづくりセンター、北洋銀行など

琴似・栄町通と二十四軒・手稲通との交差点付近は、地下鉄駅とバスターミナルが直結するなど、多くの市民が集まる場所です。そのため、乗り継ぎや地上と地下との移動環境の向上のほか、にぎわいや交流が生まれる広場空間の創出なども必要であると考えます。今後とも、駅周辺における建て替えの動向などを注視するとともに、容積率の緩和や事業費補助制度の活用を事業者に働き掛けることで、民間の活力を最大限に生かしながら、より魅力的で質の高い空間づくりに努めます。

## 東雁来地区の交通安全対策と鉄東・苗穂地区の公園整備

なりた ゆうき  
成田 祐樹  
民主市民連合

東雁来地区では住宅開発が進み、人口が急増していますが、信号機や横断歩道、一時停止標識などの交通標識の整備が遅れています。連合町内会からも交通標識の整備について要望が出されていますが、どのように考えていますか。また、整備されるまでの交通安全対策について、どのような対応ができますか。

新興住宅地における交通標識の問題は、地域における重大な懸念事項の一つであり、今後も地域とともに所管である北海道警察に対して強く働き掛けていきます。また、交通標識が整備されるまでの交通安全対策として、必要に応じて注意喚起を促すための路面標示や看板を設置するなど、道路を管理する市としてできる対策について検討します。



鉄東地区の札幌総合卸センター周辺では、子育て世帯をはじめとした人口の増加に伴い、地域から近隣に公園が全くないという声が上がっています。また、苗穂地区の希望公園では、樹木の剪定や老朽化した遊具の更新などの要望が出ていた中、台風により樹木が倒れるなどの被害を受け、今後を心配する声が上がっています。公園整備は、こうした地域の状況変化に応じて行う必要があると思いますが、いかがですか。

都心部の市街地では、札幌総合卸センター周辺のように、人口が増加している一方、公園が不足している地域もあります。このような地域では、土地の利用が進み、用地の確保が難しいことから、都市再開発などの機会も捉えながら、公園の確保に努めていきます。また、老朽化した公園については、これまで、地域ニーズを把握しながら再整備を実施しており、苗穂地区にある希望公園についても、地域の意見を聞きながら、順次、再整備を進めていきます。

# 市議会の動き

11月29日に招集された第4回定例会の中から、12月5日、6日の代表質問の主な内容や、12月11日以降に可決した議案などについてお知らせします。

## 発寒中央駅周辺のバリアフリー化と地下鉄琴似駅周辺のまちづくり

むらやま たくし  
村山 拓司  
自由民主党

JR発寒中央駅における、駅南側へのエレベーター設置と駅周辺の歩道のバリアフリー化に向けた取り組みは、それぞれどのような状況ですか。

JR駅舎のバリアフリー化は、JR北海道と市が協議し、緊急度の高い駅から計画的に進めてきました。発寒中央駅南側のエレベーターについては、すでに駅北側に設置されていることに加え、技術的な課題もありますが、駅利用者の安全や利便性を考慮し、設置を急ぐべきだという認識をJR北海道と共有できたため、具体的な施工年次などの協議を進めていきます。また、駅周辺を含む発寒中央地区の歩道のバリアフリー化は、平成29年度末までに計画の約7割が整備済みであり、残りの区間も早期完了に向けて取り組んでいきます。



地下鉄琴似駅周辺は、多くの商業ビルが立ち並び、にぎわいある街並みが形成されていますが、今後、老朽化した建物の建て替え更新の動きが出てくるのではないかと思います。中でも、地下鉄駅とバスターミナルがある、琴似・栄町通と二十四軒・手稲通との交差点付近は、西区の顔といえる重要な場所であり、将来を見据え、魅力あるまちづくりを進める必要があると考えますが、いかがですか。